

公益社団法人群馬県医師会

vol. 3

保育サポーターバンク通信



「これらの事は自分の人生を変える事になるかもしれないが。」と述べられました。その頃の私は、私なりの子育ても開業も順調に軌道に乗り、ゆとりの出来そうな時期にさしかかっていたのですが、この6か条に感電してからは、医師会、女医会、ロータリークラブ、同窓会、××理事、評議員、会長、委員長、何役も引き受けました。それも女性初の冠詞のつく役が多かったのです。どんな時もこの6か条を思い出し、確かめながら行動しました。夢中で走り抜けてきましたが、とても有意義な楽しい人生に変えられたのかもしれない。今は開業37年となり、子育ても終わり、内科医となった娘の育児を支援しながら、95才の要介護5の母親を在宅介護する毎日ですが、まだまだユーモアもスタミナも準備怠らず高齢者団塊に突入しています。

- 1 ユーモアのセンスを持つ事
2 努力、まずやる気を起こす事
3 壁を打ち破る事、ひるんではならない
4 この道は楽ではない事を覚悟する事
5 スタミナを持つ事、あきらめずに根気よくやるために
6 席があいたら手を上げる事、まず地位を獲得しなさい。考えるのは後からokuyasu.

西暦2000年のある日、私は生まれて初めてこんなにも素晴らしい講演に出会い、目映い光に全身が満たされた感覚になりました。その光は、その後の私の人生活動に大きな力となり支えとなりました。その講師は、女性初のアメリカ医師会長ナンシー・ディッキー女史です。堂々として自信に満ちあふれた魅力的な大柄で、三人の子どもの母親で、常に同伴する最大の支援者と公言している夫君フランク氏に宝物のようにエスコートされています。ディッキー会長は、日本の女性医師に、母、妻、医師の立場からの3つのアドバイスを強調されました。それは、



私の人生を変えた6か条

群馬県女医会 会長 山田 邦子

INFORMATION

活動報告

Table with 3 columns: Date, Location, Content. Lists various events from June 2016 to October 2017.

助成制度の紹介

- 1. 子育て支援助成制度
2. チャイルド(ジュニア)シートの貸与
3. インフルエンザ予防接種料金の助成
4. 緊急時のタクシー料金助成

【保育サポーターバンク登録人数】

(2018年2月現在) 医師/142名 保育サポーター/182名

【保育サポーターバンク利用状況】

(2018年1月実績) 利用医師/55人 総利用時間/1525時間

保育サポーター 資質向上研修を開催しました!

2016年10月6日(木)に、保育サポーターを対象とした救命救急講習会を、群馬県医師会大ホールにて開催しました。前橋市消防局より講師をお招きし、16名の参加者が心肺蘇生法や止血法、AEDの使用法などについて、テキストや実技で学びました。



2017年10月27日(金)、群馬県医師会大ホールにて、県保健予防課主任で管理栄養士の細谷祐美子様を講師としてお招きし、「子どもの食育や離乳食について」の講演会を開催しました。「食」は、豊かな人間性を育てるためにとても大切なものであることを、大変分かりやすく学べました。



ホームページをリニューアルしました!

2017年3月に保育サポーターバンクのホームページをより分かりやすく、利用しやすいホームページに改善いたしました。保育支援申込書などの様式もダウンロードできますので、これからサポーターバンクの利用をお考えの方はご利用下さい。

ホームページ http://www.gunma.med.or.jp/hoiku/

保育サポーター募集中

保育サポーターバンクでは、県内子育て医師をサポートしてくださる保育サポーターを募集しております。お知り合いの方へ保育サポーターバンクを紹介していただけると大変ありがたいです。子育て医師が離職せず働き続けることで、医師不足解消を目指します。ぜひご理解とご協力をお願いいたします。

予防接種について

予防接種を受けることで病気に対する抵抗力をつけることができます。予防接種のおかげで感染症は減りました。予防接種により異物が体に入るので、数は少ないですが副反応を起こすこともありま...

利用医師の声



私が思いきってサポーターさんをお願いしたのは2011年頃、長女が8歳、長男が6歳、次男が3歳頃だったと思います。それまでは慢性期の病院で勤務していましたが、職場での配慮もあり、なんとか育児家事をこなしていましたが、理解のある職場で育児家事と仕事を両立できることは安心して、8年の勤務ののち専門分野の経験と技術の取得をめざし、急性期病院での勤務に移動しました。その頃より子どもたちのお稽古の送迎が困難となり、また育児家事の負担が多くなりました。家族以外の方に育児をお願いするとは不安がありましたが、医師会サポーターバンクの存在を知り、思い切ってサポーターさんをお願いするようになりました。

週1回3人の子どもたちの学童、保育園のお迎えからそれぞれのお稽古ごとの送迎。私のお迎えまでサポーターさんご自宅まで預かっていただき夕食、入浴、また宿題の指導などもしてもらいました。サポーターさんに預けて自分が行っていたことは当初葛藤がありました。サポーターさんには子どもはもちろん、私にも思いやりと愛情をもって関わってくださるので、本当に大きな支えです。夏休みなどの長期休み、急な発熱や私が定時で帰れなくなった時も対応していただいています。そのほか運動会や授業参観、発表会などの行事に来てくださったり、時には注意をしてくれたり、一緒に子どもの成長を見守ってくれる、家族のような存在です。

現在も私は専門分野で常勤で毎日奮闘しており、何とか各専門医資格も取得することができました。子どもたちは13歳、11歳、8歳と大きくなりましたが、子育てはどの年代もその年代に応じて大変です。もっと育児に時間をさきたいと思うことも多々ありますが、「ママが家にいる方がいい?」「聞くところによるとママが医者さんをしていてるほうがいい」と答えます。私が医師として奮闘していることを子どもたちは誇らしく思っているようです。まだまだこれからも私達家族の安心と成長を、サポーターさんに見守っていただきたいと思います。<Y・Yさん>



サポーターさんからの声



保育サポーターバンクは、子どもが1歳の時から利用しており今年で6年目になります(現在、子ども6歳、4歳)。週週1回から週に1〜2回の頻度で、遅くなる日のごども園のお迎えから夕飯、お風呂をサポーターさんにご自宅でお願ひしています。それ以外にも子どもが病気の時に急な預かりを頼むこともあります。サポーターさんは子どもたちにとっては3人目のおばあちゃんと同じくお母さんのような存在で、群馬が地元でない我が家では子育て事情や共働き夫婦のバランスのとり方などたくさんのごことを教えていただいています。子どもたちに愛情をかけて下さる大人が増えることは子どもたちだけでなく私達夫婦にとっても心強い味方が増えることで、多方面で助けていただくお陰で心のゆとりを持てるようになりました。

このような素晴らしいサポーターさんとの出会いやお付き合ひ、そして金銭面(助成金)からもサポートしていただき、保育サポーターバンクの関係者の方々に心より感謝しております。<Y・Yさん>

「時計の長い針、どこを指したら行く?」
「うん。12のところがなあ!!」幼稚園に送る前のひと遊び。次は10と言おうと秘かに思っ。
「今日は歩き?」車?」
「今日は歩き!!」
「OK!」ちゅと忙しい。そんな子どもたちは、もうすぐ中学生。今日この頃、送迎・預かりでは、幼稚園、学校での事をたくさん話してくれる。花摘み、色水遊びに泥団子。掛け算九九に上毛カルタ、家康・信長・戦国武将。さらに卓球対戦、詰将棋等々盛り盛りに相手も。
眠っていた思考回路を呼び起こす…。秘かに予習復習、練習も有り(笑)。
迎える母を前にも簡単には止まらない。「もう一回してから」がルーティン。
忙しいだろうに何か楽しそう。これからも、大らかで心豊かな子どもたちと楽しく大事に過ごしたい。そして、父母、子どもたちのお手伝いが少しでもできたらと思います。<K・Wさん>



保育サポーターバンクの発足からサポーターに携わり、今まで何人も先生方と面談をさせていただきました。具体的なサポーターよりも何かあった時の安心のためと捉えていらっしゃる方、また、連日のように保育園のお迎え、もしくは幼稚園のお迎えなどのサポーターを依頼されている方もいらっしゃいます。他には塾の送迎や病児保育、緊急の保育なども…。サポーターの内容はさまざまですが、お役に立ちたいと対応できる限りはさせていただきます。
お子さんに毎日会っている、その時の様子で、体調や気持ちの変化など感じ取ることができず。その都度、メールや電話などでお知らせし互いの共通理解を図っています。また、出来る限りお預かりの時は写真など撮って添付したりしています。
既に成人したわが子も幼い頃、小児喘息や川崎病などで沢山の先生方に助けていただきました。これからも忙しい先生方の子育てのお手伝いを、微力ながらさせていただきますのであれば幸いです。<K・Wさん>

ぐんま輝く女性支援賞を受賞しました!

この度、群馬県医師会(保育サポーターバンク事業)は、群馬県が行っている平成29年度ぐんま輝く女性表彰の「ぐんま輝く女性支援賞」を受賞しました。この賞は、様々な女性のチャレンジについて積極的な支援を行っている個人・団体を表彰するものです。

保育サポーターバンクが子育て中の女性医師等を支援することで、離職を防ぎ、医師として活躍できる場を増やしていくことに貢献していること、また、保育サポーターにとっても家事と子育てや介護をしながら常勤での勤務をすることが難しい女性たちが、積極的に登録できる制度であるため、サポーターバンクを利用する側、支える側の両者にとって、女性の活躍する場を提供する橋渡しの役目となっていることが評価されました。これも、日頃よりお世話になっております利用医師・保育サポーター、そして関係の皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。そして県民の医療を守るためにも、今後とも変わらぬご支援・ご協力を頂きますよう宜しくお願い致します。



あなたにチャレンジする女性を支援することによりすべての女性が輝く社会の推進に寄与されました。その活動は県民の模範となるものですのでここに表彰します。平成29年11月13日 群馬県知事 大澤正明



安全確保に関するチェックリスト

小さな子どもたちの日々の成長には、目を見張るものがあります。「昨日まで出来なかったことが、今日は出来るようになった…」と、いつも嬉しいことですが、思いがけない動きに、一歩間違えば事故!!と、ドキッとした経験をお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか?
県医師会保育サポーターバンクでは、安心して活動を行っていただくため、「子育て相互援助活動補償保険」(一般財団法人女性労働者協会)が扱っているファミリー・サポーターセンター事業等を対象とした保険(加入しています)。
この度、女性労働者協会から送付された「事故防止のための取組みの手引き」の中に、**安全確保に関するチェックリスト**が掲載されてきました。1〜4歳の死亡原因の1位は、不慮の事故です。事故を防ぐには、危険への気づきと安全な環境づくりが大切となります。
皆様に、再確認の意味を含めてチェックリストを紹介いたします。

預かり場の安全確保に関するチェックリスト (出典:女性労働協会)

チェック項目	チェック
1. 火災や地震の際の避難場所を知っていますか。	<input type="checkbox"/>
2. 119番を呼ぶ際に必要となる情報(活動場所の住所、目印となる建物)について把握していますか。	<input type="checkbox"/>
3. 緊急連絡先(依頼会員、センター、かかりつけ医など)を控えていますか。	<input type="checkbox"/>
4. 階段や段差のあるところには、子どもが落ちない対策がしてありますか。	<input type="checkbox"/>
5. ドアがバタンと閉まらないような対策をしていますか。	<input type="checkbox"/>
6. たばこ、薬、ライター、化粧品、洗剤、刃物などを子どもの手の届かないところに置いていますか。	<input type="checkbox"/>
7. 硬貨、ピアスなどの小物、あめ玉、ピーナッツなど子どもがのみ込んでしまうようなものは子どもの手の届かないところに置いていますか。	<input type="checkbox"/>
8. ビニール袋やラップなどを子どもの手の届かないところに置いていますか。	<input type="checkbox"/>
9. 熱いお茶、ポット、鍋、アイロンなどを子どもの手の届かないところに置いていますか。	<input type="checkbox"/>
10. 反射式石油ストーブやファンヒーターを子どもの手の届かないところに置いていますか。	<input type="checkbox"/>
11. 浴槽や洗濯機に水を溜めたままにいませんか。浴室に鍵をかけるなど、子どもが1人では入らないような対策をしていますか。	<input type="checkbox"/>
12. 子どもがベランダや窓から外に飛び出さないように踏み台となるような物を片づけましたか。ひとりで出ないように鍵をかけましたか。	<input type="checkbox"/>
13. 子どもをベビーベッドなどの高いところに寝かせる場合、転落防止のための対策はとってありますか。	<input type="checkbox"/>
14. 子どもの寝床にぬいぐるみやタオルなど、口や鼻をふさぐ危険があるものを置いていませんか。	<input type="checkbox"/>
15. ブラインドの紐は子どもが首をひっかけてしまわないように、届かない高さでくくってありますか。	<input type="checkbox"/>